

発達知

～先端科学技術と人間発達研究～

開催趣旨

科学技術交流フォーラムは、東京大学産学連携協議会会員企業等を対象として、東京大学研究者が研究成果や「知」を発信する「産学出合いの場」です。

本フォーラムが産学連携の契機となり、近未来の社会・経済にとって「解を出すべき技術課題」に対して、専門分野・産業界を横断したチームが形成され、産学連携活動を企画・実行し、その課題解決が図られることを目指しています。

今回の第10回フォーラムでは、先端科学技術と人間の発達研究という先駆的研究テーマを取り上げます。

人間が生後どのように成長し自己を形成し、さらには成熟して行くのか。このような人間の存在、来歴、そして未来に関する根源的な問いが発達研究の直接の動機です。ロックのタブラサに始まる経験論、観念論や合理論の立場からの生得主義、といった哲学的論争を経て、20世紀に入りピアジェにより発達の構造的変化過程が実証的に記述され、その構成論的性格が近年では創発系・自己組織系の研究者を触発するなど、発達研究は過去数世紀に渡り多くの人々の興味を惹きつけてきました。これまで専ら哲学・

心理学領域で行われてきた発達研究に、脳科学、分子生物学、先端計測・モデリングなどの先端科学技術を融合させ、人間発達の探求を深化させようとの試みが「発達知」です。

私たちは今、人間発達の危機に直面しています。すでに米国では、将来の社会・経済的影響の観点から議論が始まっていますが、少子化の進行する我が国においても看過できない問題です。対症的取組とともに、人間発達とその障害のメカニズムの科学的解明が効果的解決には必須です。また「夜型生活」「情報化によるストレス」の例を出すまでもなく、この問題は、比較的最近起こった人工環境の急激な変化と多分に連動しており、健全な発達に親和性のある人工環境の構築も喫緊の課題です。そして、産学の連携によるこれらの課題解決を通じて、21世紀の科学技術の新たな射程、それを支える活力ある人材育成の未来像が見えてくるものと思われま。

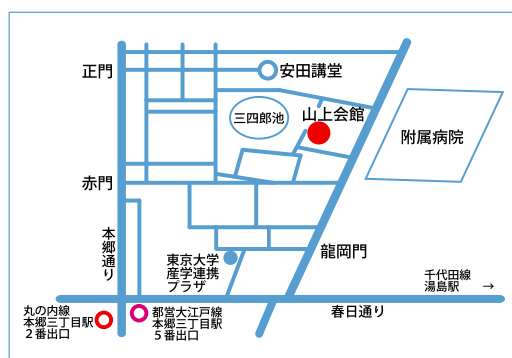
本フォーラムでは、脳科学、分子精神医学、先端計測・モデリングそれぞれの第一線の研究者に「発達知」を語っていただきます。

2008.6.17 (火) 10:00～17:30

フォーラム 東京大学 山上会館 2階 大会議室 (本郷キャンパス)

交流会 東京大学 山上会館 地階食堂

- 主催：東京大学産学連携協議会運営本部 (東京大学産学連携本部内)
- 参加定員：150名 (事前登録制一先着順、登録はウェブ上で)
- 参加費：フォーラム／無料 (交流会：3,000円)
- 申込締切：6月12日 (木)
- 申し込み：東京大学産学連携協議会運営本部事務局 (東京大学産学連携本部内)
- 問い合わせ先：<http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/kyogikai/forum/>



「発達知」

～先端科学技術と人間発達研究～

プログラム

10:00～10:05 開会挨拶 藤田 隆史 (東京大学 産学連携本部長)

10:05～10:10 挨拶 小宮山 宏 (東京大学 総長)

10:10～10:25 インタロダクション 「科学技術と人間発達研究」
山本 義春 (東京大学 大学院教育学研究科 教授)

第一部 「脳科学と発達科学」

10:25～11:05 講演1 基調講演 「脳科学と発達科学の将来」
小泉 英明 (株式会社日立製作所 役員待遇フェロー、東京大学 先端科学技術研究センター 客員教授)

11:05～11:30 講演2 「脳の初期発達」
多賀 巖太郎 (東京大学 大学院教育学研究科 准教授)

11:30～11:55 講演3 「人工物と赤ちゃん」
開 一夫 (東京大学 大学院総合文化研究科 准教授)

11:55～12:20 講演4 「発達障害の脳機能画像」
笠井 清登 (東京大学 医学部附属病院精神神経科診療部門 講師 (診療部門長))

12:20～13:20 休憩 (昼食)

第二部 「発達障害の分子精神医学」

13:20～14:00 講演5 基調講演 「発達障害は増えているか？—発達精神医学の時代—」
加藤 進昌 (昭和大学 医学部 精神医学教室 教授)

14:00～14:25 講演6 「発達障害の臨床最前線」
金生 由紀子 (東京大学 医学部附属病院こころの発達診療部 特任准教授)

14:25～14:50 講演7 「発達障害の遺伝子研究最前線」
難波 栄二 (鳥取大学 生命機能研究支援センター 教授)

14:50～15:15 講演8 「発達障害の動物モデル作製と創薬に向けて」
内匠 透 (大阪バイオサイエンス研究所 神経科学部門 研究室長)

15:15～15:30 休憩

第三部 「人間発達への工学の挑戦」

15:30～16:10 講演9 基調講演 「移動知から発達知へ」
浅間 一 (東京大学 人工物工学研究センター 教授)

16:10～16:35 講演10 「人間発達の構成論的理解」
國吉 康夫 (東京大学 大学院情報理工学研究科 教授)

16:35～17:00 講演11 「発達ウォッチセンサの開発に向けて」
伊藤 寿浩 (産業技術総合研究所 先進製造プロセス研究部門ネットワークMEMS研究グループ グループ長)

17:00～17:25 講演12 「ホームヘルスケアシステムの現状と課題」
和辻 徹 (シャープ株式会社 研究開発本部 主任研究員)

17:25～17:30 閉会挨拶 太田 与洋 (東京大学 産学連携本部 教授・産学連携研究推進部長)

17:45～19:45 交流会